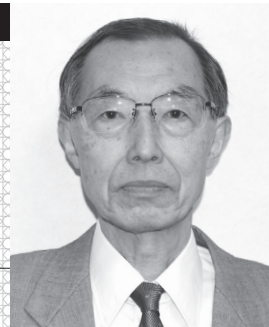


巻頭言

日本油化学会マスターズクラブの すすめ

マスターズクラブ代表 滝澤靖臣



日本油化学会マスターズクラブ(MC)が出来たのは2000年に「ミレニアム委員会」で検討されて提言されたのが始まりです。研究・教育・技術開発に長年かかわってこられた熟年の日本油化学会会員を中心に、会員相互の交流と親睦、そして自ら培ってきた知識・経験・知恵をもとに情報交換を行い、油化学及び関連分野の発展に寄与することを目的に設立されました。2001年6月に発足第一回として、次のような講演と話題提供が油脂工業会館9階会議室で行われ、活動がスタートしました。

・「マスターズクラブの発足について」

マスターズクラブ初代代表 早野茂夫氏

・話題提供「これからの日本油化学会」

早野茂夫氏, 島崎弘幸氏, 朝倉浩一氏

・「関西地区における活動」

大城芳樹氏

それ以来、現在までに様々な催し物が関東、東海、関西地区において行われており、会員はそれらの情報を共有しています。詳細は日本油化学会マスターズクラブのホームページからみることができます。特に「マスターズクラブの役割と活動」, 「マスターズクラブ発足10年」をみるにより、更に詳しく知ることができます。

人生100年時代と言われ、AI搭載のロボットが身近で活躍する事が現実になってきました。そのような社会でマスターズクラブの意義と役割をもう一度考えてみたいと思います。日本における学術団体の学会はどこでも会員の減少に苦慮しています。少子高齢化の波が年々押し寄せている事でありましょう。如何にして会員数の減少をなくし、長く学会を活性化し続けるかが重要な問題となっています。

このような時代に、これまで培ってきた研究者や技術者の知恵と技を論文やそれ以外の形でも残して、マスターズクラブ会員として学会と繋がっていけるのは画期

的なアイデアであると思います。

マスターズクラブはどんなところかと問われれば、一言でいうと日本油化学会の総合的な応援団であると言えるでしょう。日本油化学会会員が定年後も引き続き長く会員として残って活躍できる、様々な場を提供しています。油化学会分野の第一線で活躍してきた気心の知れた油化学会の仲間たちが目指すものは、更なる人生の有意義な楽しみと社会への還元・貢献そして研鑽だと思います。

マスターズクラブの組織・運営は全国レベルで構築されており、マスターズクラブの会員は関東・東海・関西地区のどれかに所属して、全体として相互に連絡しながら活動しています。話題提供と会員相互の親睦を目的に、地区毎に談話会、MCセミナー、講演会を行っています。内容形式は様々ですが、原則的に日本油化学会会員であれば自由に参加できます。その後の懇親会は、講師を交えての講演の内容の理解や交流の場として活用しています。例えば、今までに関東地区ではライオン伊豆高原研修センターでの一泊の講演会・見学・懇親会があり、東海地区では講演会と交流会、関西地区では祇園祭の機会に講演と交流会を企画するなどのアイデアに富んだ催しが行われました。また、パソコン通信・Webサイトの活用では連絡・情報・意見の交換の場として、e-グループメールの組織は現在 jocs-mastersclub@googlegroups.com を活用してリレーエッセイを書き発信し交流を深めています。更なる情報は本会のホームページを見て活用して頂ければと思います。

この機会に日本油化学会マスターズクラブの会員となり、これまで以上にご自身の知識や経験を社会に生かし、会員相互の交流、親睦を図りながら日本油化学会を応援して頂きたいと願っています。

(東京学芸大学名誉教授)